

# 交渉 NEWS

東日本ユニオン東京地本 NO,1 2019年11月16日

## 社員の声を反映したダイヤ改正の実現を！

11月14日、申5号「2019年3月ダイヤ改正検証に基づく申し入れ」交渉を行いました。

### これまでと同様の回答に終始する経営側

各職場の行路や交番順序表の作成に関する項目に対する書面回答は、「乗務割勤務作成規程に基づき関係箇所と調整しながら作成している」という、これまでの回答の繰り返しでした。

### 私たちの意見・主張

- ・社員の声を聞いて活かしてほしい。
- ・ダイヤ改正で社員の生活は大きく変わった、各職場でもっともっと配慮すべきである。
- ・『人間の生理』を考慮すべき。
- ・PTは本来の目的でキチンと行動すべきであり、その内容を明らかにすること。
- ・「情報の開示」を求める。
- ・ムダに長い拘束時間を見直すこと。
- ・「規程」は守るべき最低限の数字である。
- ・「究極の安全」を追求できるのか。
- ・安全と乗務員の生活を相関関係をシッカリ考えるべきである。

また、各職場の行路内容や行路の見直しに関する項目に対する回答も、「列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し乗務割勤務作成規程に基づき作成している」と、型通りの回答でした。

### 会社側の回答

- ・すべての職場にダイヤ検討委員会かプロジェクトチーム(PT)がある。
- ・PTは社員の声を聞くことと人材育成を目的としている。
- ・支社と各区で調整している。
- ・広く社員の声を聞いてダイヤ改正に活かしたいと考えている。
- ・睡眠時間・食事時間の確保に努力している。
- ・現状で良いとは考えてはいない。
- ・「規程」が全てだとは考えていない。
- ・大型交番で勤務操配が楽になったと聞いている。
- ・交番順序表は各区で作成している。

### 常磐緩行線の遅延対策は検討課題！

我孫子駅出区・据付から発車までの時間の再調整や、遅延対策として各駅における入出区経路・時間は検討課題となりました。また、ダイヤ検討委員会やプロジェクトチームは『社員の声を聞き、ダイヤ改正に活かす』ことを目的としていますので、しっかりと職場から“発信”ていきましょう！



東日本ユニオン東京地本では「交渉 NEWS」を発行して、東日本ユニオン組合員はもとよりJRグループに働く仲間たちに交渉のポイントや会社施策・会社提案を発信してまいります。労働組合として、現場第一線で安全・安定輸送を担いサービスを提供し続ける仲間たちの視点を大切にし、仲間たちの要求実現と会社施策の検証を行い、より良い職場、より良い会社を創造するために奮闘してまいります。

皆さんの声を聞かせてください、ご協力よろしくお願いします。